

親子チャレンジ②

『めざそう!! 50m越えのペットボトルロケット』を開催しました

7月22日に親子チャレンジ 第2弾 めざそう!! 50m越えのペットボトルロケットを開催しました。

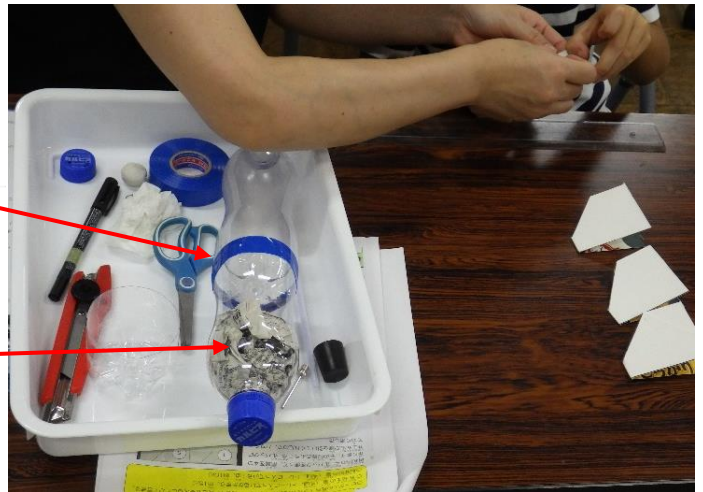
市内から8組の家族、10人の小学生が集まりペットボトルを使って親子でロケットを作りました。

作り方を教えていただいた先生は、毎年お世話になっております井上 勝 先生です。

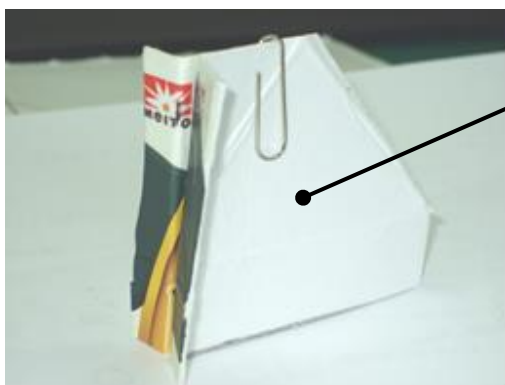
はじめに、2本のペットボトルを繋ぎ合わせます。



先端部分に新聞紙（1面分）をくしゃくしゃにして詰めます。この新聞紙の量を変えることによって飛距離が変わります。



次に、尾翼を4枚付けます。尾翼は飛行中のロケットのバランスを取ります。4枚の尾翼は、真上（ロケットの先端）から見て、プラス（垂直）に交わるように付けます。尾翼は牛乳パックを再利用して作りました。



尾翼



次に、ロケット先端部のキャップに約 10g の油粘土を入れます。この粘土の量を加減することでも飛距離を伸ばすことができます。

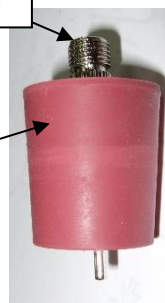
ストローをロケット胴体に付けてペットボトルロケットの完成です。



次にペットボトルロケットの原動力となる「フタ」の部分を作ります。6号のゴム栓の中心に穴が開いているので、ゴム栓の面積の広い方の面を上にして空気入れ針を差し込みます。

空気入れ針

6号ゴム栓

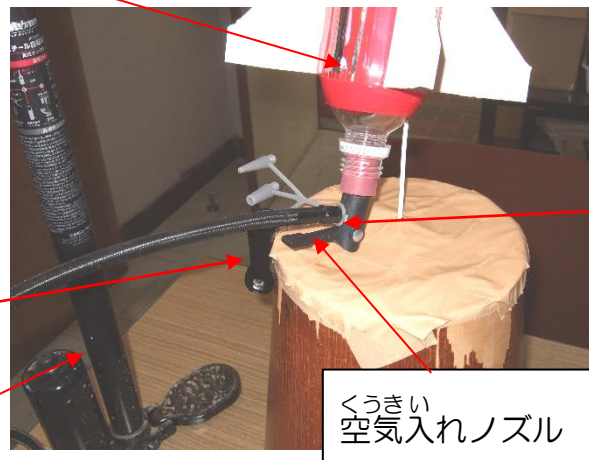


水 120ml

次にロケット発射の準備です。

ロケットの下のペットボトルに水を 120ml 入れ、空気入れ針ゴム栓で蓋をします。この時の水の量で飛距離を伸ばすことができます。

自転車等の空気入れポンプの空気入れノズルを接続し、レバーで固定します。



レバー

くうきい
空気入れ

くうきい
空気入れノズル

親子で協力してペットボトルロケットを完成させました。作ったロケットを実花小学校の校庭で飛ばしました。水の量を変えて何度も飛ばしてみました。空気入れも自分でがんばって押していました。遠くまで飛ばそうと、みんな一生懸命でした。楽しく活動ができました。

